

砥山農業クラブ 砥山農業小学校通信

サクランボの収穫と作物成長の季節

7月20日(日)の授業

時限	カリキュラム	会場
1	サクランボ収穫	砥山ふれあい果樹園
2	サクランボジャム作り	八剣山果樹園
3	野菜畑の手入れと観察	
4	山野草の寄せ植え体験	湯沢園芸

最高気温が25.6℃と暑すぎずさわやかな天気恵まれ、快適な屋外の活動ができました。この日の農業小学校にはサクランボの収穫を楽しみにしていたのに、学校の都合などで参加できなかったお友だちもいました。

1時限目は「サクランボの収穫」。皆が大変楽しみにしていました。今年のサクランボは天気の微妙な影響



もあって終盤となっています。そのため露地のものは収穫がほぼ終了しているため、農園の好意によりこれまで経験のなかつ

たハウス内での収穫となりました。ここには「南陽」という大粒の貴重品種が皆を待っていて「ウワー大きい!美味しい!」という声の方々があがりました。大きな実をいくつも口にいれてみたり、皆の笑顔がはじけました。ジャム用に500gのパックにも収穫しました。

2時限目は「サクランボジャム作り」作業を八剣



山果樹園に移動して行いました。収穫したサクランボは500gですが種を取り除くと約300gでその20%60g

の砂糖を加えて煮詰めていきます。好みによってサクランボの姿が残っているゆるめの状態や、しっかりと煮詰めた状態のジャムなどができました。ガスの炎を怖がっていた子どもたちも次第に慣れて上手に煮詰めの作業を行い良い経験となりました。ジャムは大切に家に持ち帰りました。

3時限目は「野菜畑の手入れと観察」です。5月

に植えたジャガイモとトウモロコシはほぼ順調に成長して



いると観察されました。ジャガイモはもう葉が茶色になりかけていて8月にはたくさんの収穫が見込めそうです。一方、トウ

モロコシは穂がはじめています。こちらも8月の収穫が待ち遠しいです。6月に植えたカボチャ、枝豆などの生育も



心配でしたが、アカザやギシギシといった雑草が畑を覆っていてその繁殖力の強さを知りました。皆で雑草を取り除くとスッキリして作物に生気が蘇ったよ

うな感じがしました。サツマイモもマルチの穴の根株に成長を妨げるように雑草が茂っています。こちらは雑草を引き抜くとサツマイモの茎や根を傷めてしまうため、後日刈り取りで対応することになりました。サツマイモは南国育ちということで、緑色のマルチを使いましたが、土の温度調べでは緑マルチは29℃、黒マルチは25℃という結果になりその有効性が確認されました。

4時限目は「山野草の寄せ植え」体験を湯沢園芸で行ないました。スタッフから寄せ植えの要領を教えてくださいました。最初に大きな土くれを鉢の底に入れ、野草の配置後に土をしっかりと入れます。野草は丈の低いものを手前又は外側に、丈の高いものを後ろ又は中心に配置すると立体感が出るということでした。早速準備されている20種類ほどの山野草をあれこれ選んで配置しました。完成した作品は自宅に持ち帰って楽しむことができます。

次回は8月10日(日)です。ジャガイモやトウモロコシの収穫と試食、虫取りゲームも予定しています。

発行：砥山農業小学校(代表 桜井 学)

住所：〒061-2275 札幌市南区砥山126番地 八剣山果樹園内

電話・FAX：011-596-2280

e-mail: info-h@hakkenzan.jp http://www.hakkenzan.com/nosyo/

7月20日(日)のスナップ



最初の一粒・新鮮な経験です



家族で仲良く脚立に



ていねいに摘みます



頭上に鈴なり



まずはサクランボの種取り



砂糖を加えて煮詰めます



煮詰める準備ができました



完成・少し緩めに作ってみました



こちらも完成



皆で草取りをした枝豆畑



トウモロコシの状態を皆で観察



エンジン付きの農機具を運転しました



雑草もしっかり成長しているマルチの畝



サツマイモ以上に勢いのある雑草



植え込む前にまず土を入れて鉢の準備



思い思いの山野草を選びます



配置ができたら土を隙間なく入れます



寄せ植えの完成